

煌け! 登美北

平成28年1月20日(水)
奈良市立登美ヶ丘北中学校
生徒指導だより
文責: 三間瀬 充宏

未来

今年も1月17日を迎えました。みなさんもよく知っているように、この日は6434人が亡くなった阪神淡路大震災が起きた日です。発生から21年、震災の跡を見つけることも難しくなり、今年成人を迎えた人達は震災後に生まれた人達となりました。しかし、家族やなまかを突然失った記憶はいつまでも多くの人のこころに残っています。今年も被災地では鎮魂の祈りが行われました。



■1.17ひょうご安全の日宣言■

6400名を超える尊い命を奪い、未曾有の被害をもたらした
阪神・淡路大震災から21年が経った
私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも
この経験や教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい
そのように願って 伝え続けてきた

11年前に国連防災世界会議が開催された
震災の教訓を発展させた 兵庫行動枠組は
さらに 昨年の仙台防災枠組にも生かされた
創造的復興は ひきつづき世界の防災の目標となった

でもこの間 地球の温暖化も進行し
ハリケーンや台風の大型化と
集中豪雨災害の多発という形で顕在化してきた
災害は新たなステージに入ったのだ

だから 私たちもこころを新たに
阪神・淡路大震災の経験や教訓を もっと伝えなければならない
南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生も心配だ
だから もっと対策を進めなければならない

次なる災害に備えるには
日常防災が役に立つ
それにつながる防災教育も一層進めたい
それらが災害文化となって 安全 安心社会を実現する

1.17は忘れない 伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を
震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2016年1月17日
ひょうご安全の日推進県民会議

その一つ神戸市中央区の東遊園地では、地震が起きた午前5時46分から「阪神淡路大震災1・17のつどい」があり、約7500本の竹灯籠(とうろう)で形作った「1・17」と、公募で新たに加わった「未来」の文字が浮かび上がりました。また、東日本大震災が起きた午後2時46分には「3・11」の竹灯籠にも祈りがささげられ、同時に東日本大震災の被災地でも追悼行事が営まれ、二つの被災地は亡き人への思いに包まれました。

地震などの天災が起こることは防げませんが、災害に備えることはできます。自分ができる防災対策を考えてみてください。

善は急げ(すぐに始めよう!)

12月になると、1年って早いなあという声をよく耳にします。では、年が明けた1月はというと、「まだ年が明けたばかりだから、正月ボケが…」という声をよく耳にします。

カレン・ラムという映画俳優が、「あなたは1年後、今日始めなかったことを、後悔しているかもしれない」という言葉を残しています。

1月から3月は、まだ進級・進学もしないし、ぼんやりしてしまいがちですが、「行く1月、逃げる2月、去る3月」とも言われるように、あっという間に過ぎていきます。まずは今年目標を立てましょう。

(月刊生徒指導1月号)